

Your future is made by reading books 21号

2025年7月20日

現在、図書館にはおかげさまで本がたくさん納められています。その本を利用して先生が新たな試みを始めました。読書の時間です。行われている学年は4~6年生で、担任が本を数冊教室に持って行き、宿題の丸付けしている間や、急きょ教室をあけなければならない時に生徒は読書をして、図書館へ返却は担任が行なうものです。日本の中学校では、朝の読書タイムがありますよね。私自身、紙の本を時間をじっくり作って読むことはもう何年もないのですが、やはり読書の時間はとても大切だと思うのです。先生方が始めたこの読書の時間は、本が紛失する背景があっての事ですが、本は個人の財産ではなく皆の財産という認識があって、本を読むことによってたくさんの言葉を知り、様々なことを学べるという想いがあり始められました。先生方が率先して始めたこの取り組みが一時的なものでなく続いているのをほしいうのです。中学生クラスまでの先生の中には、ハリーポッターの本を楽しんでいる先生もいます。子どもにも先生にも本に楽しんでもらいたいです。目で字を追って読む默読、声に出して読む音読とありますが、子どもには声に出して読む音読をやってほしい、これまで何度か授業で声に出して読んでもらったり、セリフを登場人物に分かれて読んでもらう音読劇を実践してきた中、読み手も聞き手も分かり易く楽しめる授業は出来ないか?と今回、各登場人物のカードを胸の前につけて音読劇をしました。登場人物の誰がセリフを言ったのかが聞き手に分かり易かったと思います。子どもは友だち同士の会話は現地語であるエウェ語で元気よく声を出してするもの、英語での会話は小さな声になってしまいがちです。人前に立って読むとなるとなおさらです。だからこそ、英語の本を間違っても良いから声に出して読んで欲しいと思うのです。今回行なった音読劇は『The Sun and The wind』です。前に出てきて読む子どもは、どこか緊張をしているようでしたが、楽しんでいるようにも思えました。また初めに読み聞かせした時には、お話しの内容を理解できなかったけれど、音読劇を見て内容が理解ってきた子どももいました。この『太陽と北風』はイソップ寓話は一つですが、英語での本だと north wind ではなく、wind になるところに関心です。日本語の北風はとても寒いというイメージがあります。風だけだと分からない。こうした小さな気づきがこの『Your future is made by reading books』プロジェクトの一つの楽しみでもあります。日本に居たらこんなにたくさんの英語の本に触ることは無かったのですから。子どもと先生とともにこれからも絵本を楽しんでいきます。

図書館建設サポーター 一般社団ギブアウエイ様

プロジェクトサポーター KAWASHO FOODS (GULF) FZE 様

フェリシモ基金事務局様 矢東タイヤ様

